



優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

河内長野の家

タイプ

持家一戸建

講評

広い敷地に建つ古い民家のリフォーム。元々あるゆったりした広い部屋と柱・梁材とが、重厚で品のある雰囲気を出している。豊かな庭との繋がりに配慮されている。部屋に射込む木もれ日も美しく。



リノベーション前のリビングルームよりゲストルームを見る。



リノベーション前のキッチンルームを見る。



右側が母屋、中央が渡り廊下・浴室棟の屋根が見え、その向こうに蔵・雜れの屋根が見える。



リビングルームよりゲストルームを見る。来客時には「唐長」の和紙を張った可動間仕切を閉める。



ゲストルームから庭を見る。



リビングルームを見る。右が茶の間、正面はダイニングルーム、左にゲストルームが見える。床チーク無垢材床暖房、壁漆喰



キッチンよりダイニングテーブル越しに庭を見る。



ダイニングルームよりキッチンを見る。奥に食品庫があり、サービスヤードへの出入口がある。



ダイニングルームを見る。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など
江戸・文政時代に建築されたと言われる「河内長野の家」は、約30年前、母屋にトップライトのあるゲストルーム、D・Kなどの改築が行われていましたが、設備などが古くなったことや、D・Kが暗くて狭く日常の不便性が大きくなり、今回リフォームすることになりました。現在では、造りえない伝統木造構造で構成された、重厚で風格のある建築の良いところは受継ぎ、現代の利便性をどのように融合させるのが課題でした。「光」と「風」、「庭」を取り込み、機能と収納を備えたキッチン・床暖房・ホームエレベーターなど設備面を充実させ、先人の知恵と匠の技を

受継ぎ、便利で快適で、心地よく寛げる空間を求めました。
外部は町並み保存を考え、歴史ある景観を大切に復元を行いました。
クライアントの感想は、以前は気づかなかった日本建築の良さを再認識でき、便利で快適に生活できるようになったそうです。

特に配慮した住宅性能：

データ		構造/築後年数		在来木造		180年	
所在地	大阪府河内長野市	構造/築後年数		在来木造		180年	
該当工事面積	228.58 m ²	該当部分工事費	4,500万円				
居住者構成	2人 (大人<15歳以上)			2人 子供			ペット
設計者	平井憲一建築事務所	担当者	平井 憲一				
施工者	内原工務店	担当者	内原 一誠				

リフォーム前

リフォーム後

